



シチズングループの環境経営

シチズングループでは、2003年から環境配慮型製品100%をめざした活動を行い、グリーン調達にも取り組みました。環境配慮型製品をほぼ100%とすることができたことで、グループ環境方針を改訂し、新たな取り組みを開始します。

環境社会ビジョンと環境方針

シチズン環境社会ビジョン(2025)

シチズンは「市民に愛され市民に貢献する」という理念に基づき、人々が心豊かに安心して暮らせる持続可能な市民社会に貢献します。
シチズンは“一番近くで”地球と人にやさしい製品をお届けします。

2004年7月20日策定
2007年4月 1日改訂

2009年度目標と実績

○：達成 ×：未達成

2009年度目標	2009年度実績	評価	参照
1.環境配慮型製品の充実			
新規モデル環境配慮型製品率 100%合格のシステム維持	電子機器製品群で100%、 時計製品群で100%	○	P29
スーパー環境配慮型製品の開発	評価基準設定まで完了。 企画・開発まで至らず。	×	
EuP指令への対応準備	情報収集は随時継続中。 具体的な対応活動まで至らず。	×	
REACH規則に対応した製品含有 化学物質の管理システム構築	REACH規則に対応した 管理システムの導入	○	
2.環境にやさしい事業活動			
各部門1テーマ以上実施 (東京/所沢)	(東京:27部門)87テーマ実施 (所沢:9部門)33テーマ実施	○	—
3.地球温暖化ガスの削減			
(東京)CO ₂ 排出量削減 1999年度比▲50%(11,900t-CO ₂)	1999年度比▲58% (9,997t-CO ₂)	○	P28
(所沢)CO ₂ 排出量削減 1999年度比▲17%(10,080t-CO ₂)	1999年度比▲19% (9,814t-CO ₂)	○	
(グループ)CO ₂ 排出量削減 2008年度比▲1%(売上高原単位)	2008年度比10% (売上高原単位)	×	
4.廃棄物削減活動の推進			
(東京)産業廃棄物の削減 維持管理	1999年度比▲79%(116t)	○	P28
(所沢)産業廃棄物の削減 維持管理	1999年度比▲52%(82t)	○	
(グループ)廃棄物量削減 2008年度比▲1%(売上高原単位)	2008年度比 4%(売上高原単位)	×	
(グループ)再資源化率 99%	99%	○	

シチズングループはシチズン環境社会ビジョン(2025)に基づき、シチズングループ環境方針を改訂しました。グループ各社の心をあわせたいという思いから、「小さいは、エコになる。」という“スローガン”を設けました。

シチズングループはこれまで小型精密技術を軸にして生産性向上を進めてきました。これを“環境の目”で見ますと、「生産性向上=環境負荷削減=利益創出」となります。つまり、省スペース・省資源・省エネルギーという環境価値に置き換えることができます。私たちは、日々のものづくりのなかですでに環境活動を十分に行っていることに気づきました。「小さいは、エコになる。」のスローガンのもとに、「小さくすること」までできているものづくりに“環境の目”をさらに加えて、「エコになる。」を見出して、シチズングループの環境価値としたいと考えています。

シチズングループ環境方針

スローガン 「小さいは、エコになる。」

- 1. ダウン・サイジングの実施**
生産革新/技術革新により環境負荷を削減し、利益創出およびCO₂削減を実現する。
- 2. 環境配慮型製品の新しい環境価値の創出**
製品または部品の新たな環境配慮内容の発掘
- 3. 環境リスクの低減**
グローバル環境法規制への対応、REACH規則、米国規制、中国規制など
- 4. 環境社会貢献活動による地域社会とのコミュニケーション強化**

2010年4月1日改訂

